

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ありんこ		
○保護者評価実施期間	R7年11月 15日 ～ R7年12月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R7年11月 15日 ～ R7年12月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育に特化しており、就学に向けてのトレーニングや可能性を見極めアプローチしていく事で集中力や切り替え等を学ぶ。保護者やこども園、他事業所とも連携を取りながら事業所で学んだ事を小集団や集団で発揮できるよう取り組んでいる	支援内容の一貫性。スタッフによって対応に相違がないよう周知している。	新しいスタッフにも周知出来るようにしている。
2	保育所等訪問支援でこども園等とも連携をとれること。	事業所での療育方法をこども園とも共有している。	事業所にもこども園の保育士さんに見学に来ていただき、より強固な連携が取れるようにしていく。
3	放課後等デイサービスで継続的に支援を続けていけること。	多機能型なので児童発達支援と放課後等デイサービスの交流の場を設けている。	児童発達支援と放課後等デイサービスの交流の機会を増やす事での相乗効果を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所してまだ2年弱で知名度が低い	児童発達支援の普及	市内のこども園等へ児童発達支援の重要性を発信していく
2	スタッフの充足	専門性の高いスタッフの育成	研修やミーティング等を適宜開催する
3			